



2013年(平成25年)10月 **66号**

CONTENTS

- **トピックス**
 - 全保険者で差額通知実施へ、14年度予算に事業費要求 1
 - **リレー随想** (播磨 久明) 3
 - **お知らせ**
 - 【佐賀県開催】第75回九州山口薬学大会 6
 - 第23回日本医療薬学会年会 8
 - 第46回日本薬剤師会学術大会 8
 - 10月度イベント参加予定について 9
 - 平成25年度第1四半期のジェネリック医薬品シェア
分析結果について 10
 - 日本ジェネリック製薬協会
「安全性委員会・くすり相談委員会合同全体研修会」 11
 - **活動案内** 13
-



全保険者で差額通知実施へ、 14年度予算に事業費要求

2014年度予算の概算要求で各省が打ち出した後発医薬品の使用促進策が出そろった。厚生労働省は医療保険者が先発医薬品を使い続ける被保険者に、後発医薬品に置き換えた場合にいくら薬代が削減できるかを知らせる文書を送付する「差額通知」について、全ての保険者に取り組んでもらうため、14年度予算に15億5,500万円を要求している。差額通知を実施する保険者に厚労省が必要経費の半額を補助する計画だ。

厚労省は、17年度までの5年間で後発医薬品の数量シェアを60%以上とする目標を掲げた「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」を4月に公表。目標達成に向け、保険者に対して差額通知事業の推進や後発医薬品の使用を希望していることを示すシールやカードの普及を行うよう求めている。

厚労省はこれまで、国民健康保険など一部の保険者に差額通知事業の補助を行ってきたが、ロードマップや6月に閣議決定した「日本再興戦略」の医療費適正化の方針も踏まえ、今回の予算要求で被用者保険を含め全ての保険者に取り組みを促す方針だ。

具体的には、調剤レセプトで差額通知の対象者を割り出す解析費用や文書の作成代、送付費用などを補助する。差額通知をこれから始める保険者に加え、既に自主的に事業に取り組んでいる保険者が送付対象者を拡大する場合も補助対象とする。

また被保険者が医療機関などに後発医薬品の使用を希望していることを示すカードや健康保険証に貼るシールの普及事業にも、国が必要経費の半額を補助する計画だ。

さらに厚労省は、民間の広報会社に委託して後発医薬品の普及啓発や情報提供を行う事業や、外部の調査会社に委託し後発医薬品を扱う製薬企業や都道府県、保険者にアンケートを取り、有識者からなる検討会を開いて効果的な使用

促進策を立案する事業などとして1億5,000万円を予算要求している。

◇大学病院のGE促進事業 文科省、14年度も9億5,000万円を予算要求

文部科学省は後発医薬品の使用割合の多い上位15の国立大学病院に対し、最大1億円の補助金を配分する2013年度予算事業について、14年度も引き続き実施する方針を決め、ほぼ同額の9億5,000万円を予算要求した。

事業は全国42の国立大学病院のうち、全医薬品の購入額に占める後発医薬品割合の多い病院に補助金を交付するもの。大学病院が補助金を活用し、薬剤師を増員することで勤務医に後発医薬品に関する情報提供をする機会が増えることを狙っている。文科省は勤務医に依然として残る後発医薬品の品質への不安感が払拭され、後発医薬品の使用が増えることを期待している。

ただ13年度予算では財務省との折衝の結果、概算要求段階の27億円から10億円と6割程度予算が削られた経験があり、事業継続の必要性をどれだけ示せるかが課題だ。

文科省高等教育局医学教育課大学病院支援室によると、42病院が独自に集計している11年度の購入額ベースの後発医薬品の使用割合は4%。これを数量シェアに換算すると10%強で、厚労省が11年9月の薬価調査で出している数量シェア22.8%の半分程度にとどまる。国立大病院の後発医薬品の使用が低調なことがうかがえる。

このため13年度事業では後発医薬品の使用割合の多い上位15病院に5,000万円から1億円を交付し、互いに競わせる仕組みとして導入された。15病院は11年度のデータを基に、北海道大、旭川医科大、弘前大、秋田大、筑波大、千葉大、浜松医科大、名古屋大、三重大、京都大、山口大、愛媛大、佐賀大、長崎大、熊本大。

14年度以降も事業を継続することで13年度に補助金がもらえなかった病院にも後発医薬品使用の取り組みを加速してもらおう。文科省は、補助金を受けた病院が薬剤師を増員することで勤務医に後発医薬品に関する情報提供をする機会が増え、品質への不安感が払拭されて後発医薬品の使用も増えるという「好循環」を期待している。



いのちの理由

長生堂製薬株式会社

播 磨 久 明

先日、わたしのもとに神様からの尊い贈りものがありました。とても小さないのちの誕生です。孫の可愛さというものは、子供とは違って格別なものがあると、見聞きし理解はしていたつもりですが、実際に我が身のことになると、どうしてこんなにも可愛いものかと、とても不思議で例えようもない幸せな気持ちに包まれています。

一方で、こうして幸せに授かるいのちに感謝する時、どうしてもあの東日本大震災を想わずにはいられません。一千年に一度、日本観測史上最大とまでいわれた震災は、筆舌に尽くしがたい大きな爪痕を残すこととなりました。あれから2年7ヶ月もの月日が流れた今でも昨日の事のように思い起こされ、その反面遅々として進まない復興に、全てにおいて豊かであるはずの、この国の本質を考えさせられ、真の国の豊かさや幸せとは、決して経済面や物質面での豊かさだけでは語れないという思いを禁じえません。

幸せと申せば、国民総幸福量（Gross National Happiness, GNH）というものがありますが、これはブータン国王夫妻の来日によって、ブータンという国の名前とともに、世に広く知られることになりました。GNPやGDPが経済面の指標であるのに対し、GNHは精神面やこころの豊かさを指標としており、「国民全体の幸福度」ともいえます。

因みに、ブータンのGNHは、調査された世界178カ国中8位にあり、GDPが162位と、決して豊かな国とはいえないにもかかわらず、大多数の国民が幸せだと感じているようです。このことについては、来日時の国会演説において、国王が震災に直面する日本国民を思い、その人柄が滲み出るような実に感銘する素晴らしいお話をされたことから、大きく頷かれた方も多いのではないのでしょうか。

ここで我が国のことについては敢えて申し上げず、各位のご想像にお任せしたいと存じますが、因みにGNHの尺度は、1. 心理的幸福、2. 健康、3. 教育、4. 文化、5. 環境、6. コミュニティー、7. 良い統治、8. 生活水準、9. 自分の時間の使い方の、9つの要素から構成されているようです。

つまり、人としての幸せの本質とは、平和で安定した自由な環境のもと、いのちあることの喜びを日々の時間のなかでごく普通に実感できる、ということなのかもしれません。そして、人は恵まれ過ぎていて、ついこの有り難さを忘れてしまいがちになり、時にいのちの儚さを知ることによって、改めてこの尊さに感謝できるものなのでしょう。

こうして、いのちの意味やその理由に思いをめぐらせると、聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生が全国の小学校を訪ね行っておられる「いのちの授業」のことが思い浮かびます。日野原先生は、子供たちに、いのちが何であるかを訊ねながら、いのちにはかたちがなく空気のようなものだけけれど、このように本当に大切なものは目には見えず、言わばいのちとは誰もが持っている時間であり、その時間を使うことが生きている証であり、時間のなかにいのちがあるのだと説かれています。

そして、この与えられた大切な時間をどう使うか、この時間は自分のためだけではなく誰かのために使うことが大事であり、誰かのために何かが出来る人、自分のいのちと同じように人のいのちも大切に思い、いのちを愛せる人になってほしいと締めくくられています。

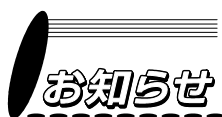
わたしたち人は、失われゆくいのちに対して、時に無力で抗うことが出来ないこともあります。しかし時にそれを救い、またその終焉を少しでも穏やかなものにできることもあるのです。そしてその一助として、私たちの携わる医薬品もあるのだろうと思っています。

国家の運営と同様、企業も経営という現実直面することがあります。そしてそこで、わたしたち経営者は、時に、目指すべき高い理想や理念と、厳しい現実との狭間で苦悩するのです。

然しながら、こうしていのちというものを真摯に想う時、私たちは惑うことなく、人のためにどうあるべきか、どうお役にたてるのか、家族や社員、関わらせて頂いた方のためにどう生き、その心に何を残せるのかということを決して

忘れてはならないのだと、そして、それがまさしく人として生まれ逝く、わたしたちの「いのちの理由」なのだろうと、小さないのちに教えられる今日この頃です。

次号は、テイカ製薬㈱の松井社長にお願いします。



☆【佐賀県開催】第75回九州山口薬学大会

《長野前理事長講演》

第75回九州山口薬学大会の製薬・卸分科会において「ジェネリック医薬品を取り巻く現状と展望」と題して長野前理事長の基調講演が行われました。

ジェネリック医薬品（以下GE）の説明から、社会的意義、普及の現状、ロードマップの着目点とGE産業の未来まで、90分間、多岐にわたって講演されました。

ロードマップについては今回の着目点であるGEシェアの新計算方式や医学薬学教育での取り組み、GE使用促進の診療報酬上の評価等が明記されていることや、メーカーの取り組むべき課題として、安定供給、品質管理、情報提供、環境整備の各項目の詳細事項を説明され、GE薬協としてこれらの課題に以前から取り組んでいること等が紹介されました。

後半では「ジェネリック医薬品情報提供システム」の紹介やGE普及の薬剤師の役割、日本のGE産業の将来像（バイオシミラーへの移行、海外進出等）についても言及されていました。

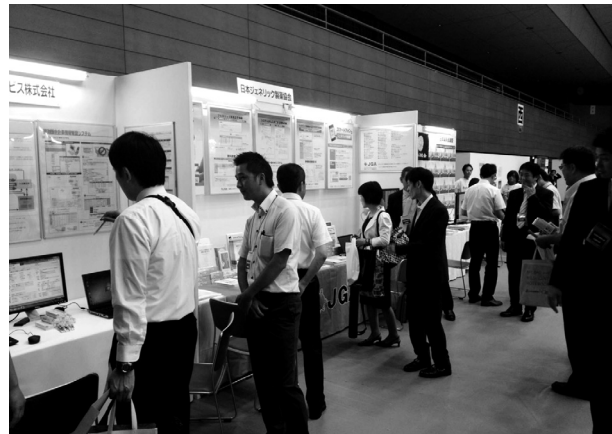
講演終了後、会場から先発医薬品との適応症の違いの現状や多品目からGEを選ぶ際のポイント等が質問され、先発医薬品が適応追加した際のGE企業の対応状況やGE選択のポイントとしてはメーカーの情報提供能力や製剤の付加価値等が参考になるのではと説明されました。

今回は台風の影響で長野前理事長の帰りの飛行機が欠航となり、もう一泊されて帰られたようです。本当にお疲れ様でした。

《展示会》

第75回九州山口薬学大会が佐賀市文化会館において、9月15日（日）～16日（祝・月）の日程で開催されました。今年の開催テーマは『くすりが紡ぐ「命の絆」「人の絆」～地域医療・チーム医療に携わる薬剤師として～』で、毎年参加者が多い学会であるが、今年も約3,400名が参加されました。

大会に併設された展示会場（隣接する佐賀県立総合体育館）へも多くの薬剤師の先生方にお越し頂き、当協会展示ブースでは『ジェネリック医薬品情報提供システム』の訴求をメインに行いました。普段と少し変わった感じを受けたのは、今年4月から二回目の



の6年制薬剤師が誕生したことによるのか、若い薬剤師が5～6名のグループで来られ、熱心に説明を聞いて行く姿が見受けられ、薬局業務におけるジェネリック医薬品への関心が高まっているように感じられました。

なお、展示ブースでの対応者は約300名で、盛会のうちに終了いたしました。

《コーヒーブレイク》

佐賀といえば、第10代藩主の鍋島直正が有名な偉人だ。大砲や蒸気船の製造、西洋医学の研究など、当時の日本で最先端といわれる佐賀藩の近代化を先導している。また早稲田大学の創設者となった大隈重信も佐賀の生んだ偉人である。

会場へ向かうタクシーで運転手さんへ聞いてみた。「佐賀のお土産と言えば？」、運転手さんからは、松露饅頭、佐賀錦、小城羊羹などの説明がはじまって、すぐ焼き物の話となった。佐賀は古くから焼物の産地として有名で、磁器の有田焼や伊万里焼、そして陶器の唐津焼と今も沢山の窯元がある。

有田焼・伊万里焼は石を砕いた粉でつくられ、目が細かく陶器よりも薄いのが特徴で、指で弾くとキーンと言う金属音する。有田焼・伊万里焼は、江戸時代に伊万里港から輸出されていたことから、これらの総称として「古伊万里」と名付けられている。

唐津焼は、違い土や粘土をこねて作られ、ちょっと分厚い作りで、指で弾くとコンコンと言う低い音がするのが特徴だ。

☆第23回日本医療薬学会年会

平成25年9月21日（土）、22日（日）の2日間、仙台市の仙台国際センター、東北大学百周年記念会館川内萩ホール、東北大学川内北キャンパスにおいて、「再興、再考、創ろう最高の医療の未来」をテーマに第23回日本医療薬学会年会が開催され、2日間で約6,000人が参加されました。

日本医療薬学会には、病院や薬局など、医療現場で活躍する薬剤師を中心に、薬系大学の教員や学生、さらには製薬企業の研究者など、幅広く参加されています。

当協会の展示ブースにも多くの先生方が訪れ、ジェネリック医薬品の品質面や情報提供システム、教育資材や講演資料に至るものまで、様々な質問がなされていました。

また、最近では当協会のスマートフォンアプリに興味を持たれる先生方が多く、情報取得の方法が少しずつ変化していると感じました。

なお、展示ブースでの対応者は約400名で、無事盛会のうちに終了いたしました。

☆第46回日本薬剤師会学術大会

2013年9月22日（日）～23日（月）の二日間、グランキューブ大阪（大阪国際会議場）で開催されました「第46回日本薬剤師会学術大会」にて、当協会が展示ブースを出展いたしました。

なお、大会来場者数は2日間で約15,000名、展示ブースでの対応者は約600名で、無事盛会のうちに終了いたしました。

ご協力いただきました運営実施委員の皆様には、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。



☆10月度イベント参加予定について

○第27回日本臨床内科医学会【医療関係者向け】

（ランチョンセミナー）

開催日：2013年10月13日

場 所：神戸国際会議場

テーマ：ジェネリック医薬品の基礎知識

座 長：内藤和行 先生（小牧市民病院 副院長）

講 師：緒方宏泰 先生（明治薬科大学 名誉教授）

（展示会ブース出展）

開催日：2013年10月13～14日

場 所：神戸国際会議場

○第57回日本薬学会関東支部大会【医療関係者向け】

（ランチョンセミナー）

開催日：2013年10月26日

場 所：帝京大学板橋キャンパス

テーマ：ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動とジェネリック医薬品の品質確保

座 長：白神誠 先生（日本大学薬学部 教授）

講 師：四方田千佳子 先生（医薬品医療機器総合機構 規格基準部 医薬品基準課 テクニカルエキスパート）

○第52回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中四国支部学術大会【医療関係者向け】

（展示会ブース出展）

開催日：2013年10月26日～27日

場 所：松山大学

日本ジェネリック製薬協会 「安全性委員会・くすり相談委員会合同全体研修会」

日 時：2013年9月10日（火） 13:30～17:00

場 所：ベルサール八重洲

35社90名の会員が出席され、日本ジェネリック製薬協会「安全性委員会・くすり相談委員会合同全体研修会」が開催されました。

今回は、インタビューフォーム検討会プロジェクトチームからの説明のほか、(株)ジェイ・ビー・サポート チーフコンサルタントの柴崎史夫先生、東京大学大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座の澤田康文教授からご講演をいただきました。

◆後発医薬品におけるインタビューフォーム作成にあたって

インタビューフォーム検討会プロジェクトチーム 篠田若子 氏

日本病院薬剤師会の「医薬品インタビューフォーム記載要領2013」の改訂に伴い、日本製薬工業協会の「医薬品インタビューフォーム作成の手引き」が改訂されたことから、当協会においても後発医薬品の更なる信頼性向上を目指すため、今回、「後発医薬品におけるインタビューフォーム作成にあたって」の見直しを行ったと改訂の経緯が説明されました。

また、今回の改訂では、項目名、引用、解説、記載例等を全面的に改訂し、日本製薬工業協会の作成の手引きの後発医薬品への対応も進んだことから、全体的にスリム化したとのことでした。

本年12月の薬価収載品からについては、原則、新記載要領に従って作成することになります。

◆コミュニケーションスキルアップ研修

(株)ジェイ・ビー・サポート チーフコンサルタント 柴崎史夫 先生

研修のねらいとして、以下のポイントを挙げられ、講義をしていただきました。

1. コミュニケーションの構造を理解する。
 - ・なぜ自分の考えが思うように伝わらないのか
 - ・コミュニケーションとは
2. 「傾聴力」聴き上手になるポイント
 - ・聞く、聴く、訊く、の使い分け
 - ・上手な話の聴き方
3. 「説明力」説明上手になるポイント
 - ・わかりやすい話の基本構成
4. 「質問力」質問上手になるポイント
 - ・質問の種類を使い分け

講義中においては、出席者同士でのディスカッションやロールプレイングも交えながらの講義となり、コミュニケーションのスキルアップを実践した研修となりました。

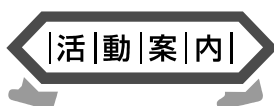
◆国民には“ジェネリック医薬品”をどう説明する？

東京大学大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座 澤田康文 教授

冒頭、「製薬企業や医療関係者はジェネリック医薬品の問題点やそれに対する意見・提案などを収集し、評価していかなければならない。それがジェネリック医薬品を進化させる。現在、ジェネリック医薬品の普及はある程度進んではいるが、その本質が医療関係者や国民には理解されていない。」と問題提起されました。

先発医薬品からジェネリック医薬品への変更に関連して、服薬コンプライアンスに係る患者の心理状態の問題と製剤固有の問題を挙げられました。患者の心理状態の問題では、患者の服薬ノンコンプライアンスに係る事例やケトプロフェン貼付剤の使用勝手に関する調査結果を紹介され、製剤固有の問題では、ツロブテロール貼付剤に係る事例と調査結果等を紹介されました。

最後に、「医師、薬剤師及び患者とその家族は、コンプライアンスを満たしたうえで薬剤特性も理解してもらう必要がある。製薬企業として、医薬品適正使用情報の提供と市販後情報の収集(患者が何を理解しているのか)を促進すること、また、研究開発部門との連携も必要である。」と締めくくられました。



<日誌>

9月4日	総務委員会広報部会 JGAニュース編集会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
9月6日	総務委員会総務部会	日医工(株)富山工場会議室
9月10日	安全性委員会・くすり相談委員会 合同研修会	ベルサール八重洲会議室
9月11日	品質委員会	東京八重洲ホール会議室
〃	総務委員会総務部会 HP管理・運営グループ会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
9月18日	常任理事会・理事会	新大阪ワシントンホテルプラザ会議室
9月19日	薬制委員会	東京八重洲ホール会議室
9月25日	総務委員会広報部会 グループリーダー会	日本ジェネリック製薬協会会議室
9月26日	薬事関連連絡会	東京八重洲ホール会議室
9月27日	薬価委員会	〃

<今月の予定>

10月7日	総務委員会広報部会 JGAニュース編集会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
10月8日	総務委員会総務部会	〃
10月11日	知的財産研究委員会	〃
10月16日	常任理事会・理事会	〃
10月17日	総務委員会広報部会 原稿作成グループ会議	〃
10月18日	流通適正化委員会	東京八重洲ホール会議室
10月22日	総務委員会広報部会 グループリーダー会	メルパルク大阪会議室
〃	薬事関連連絡会	東京八重洲ホール会議室
10月25日	薬価委員会	〃
10月30日	倫理委員会実務委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室

/ 編 / 集 / 後 / 記 /

ロゲ会長が「TOKYO」を読み上げる。

日本時間9月8日朝5時、2020年の夏季オリンピックが東京で開催される事が決まった。東京での夏季オリンピック開催は1964年の東京開催以来56年ぶりとなる。（冬季オリンピックは1972年札幌開催、1998年長野開催）

IOC委員による1回目の投票、再投票を経て東京とイスタンブールの決選投票が行われ、東京は60票、イスタンブールは36票だった。

投票を分かち最終プレゼンテーションは三国の論点とストロングポイントが明確になり、特に東京は国として一枚岩で臨む素晴らしいものだった。

太田雄貴選手（フェンシング）とパラリンピアン佐藤真海選手（陸上）の訴えは、大会の主役であるアスリートの声を代弁し、滝川クリステル氏（招致“Cool Tokyo”アンバサダー）がジェスチャーを交えて語った「おもてなし」の精神も秀逸だった。

計画性のある内容に加え、IOC委員のハートに訴えるエモーショナルな演出も効果的だったように思う。高円宮妃久子殿下が前半部分をIOCの公用語であるフランス語で話され、五輪精神への敬意と「震災支援のお礼」を表されたことは、多くのIOC委員の共感を呼んだのではないだろうか。

ロビー活動の先頭に立った竹田恆和・招致委員会理事長（IOC委員）、水野正人・招致委員会副理事長の長年の努力にも敬意を表したい。

そして、例え問題を抱えていたとしても、その解決に向け、国を挙げて真剣に取り組んでいく姿勢をIOCは見ていられる。それが本当ならば、安倍首相の回答はパーフェクトだったと言えるだろう。

しかしながら、日本国民はそう感じていただろうか？

汚染被害はどの程度でくるのか？国の対策は計画性のあるものなのか？高度に政治的な問題にせよ、国民に説明はないのか？

7年後の私は37歳になり、7歳の息子と会場に行きたいと思っている。問題は山積しているが、この五輪招致を契機に原発問題と経済状況をより高いレベルで改善する事が日本の使命であると考えている。

以下、福島第一原発の汚染水漏れ問題に対する安部首相の回答

『全く問題ありません。新聞のヘッドラインではなく、事実を見ていただきたい。汚染水による影響は、福島第一原発の0.3平方キロ以内で完全にブロックされています。福島近海でモニタリングを行いました。その結果、WHO基準の500分の1となっています。日本は食品や水の安全基準は世界で最も厳しい。どの地域においてもその基準の100分の1です。現在も将来もまったく問題ないと約束します。すでに私が責任をもって、抜本解決に向けたプログラムに着手しています。』

(T. M)

■ 編 集

日本ジェネリック製薬協会
総務委員会広報部会

■ 発 行

日本ジェネリック製薬協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-4

日本橋本町ビル7F

TEL: 03-3279-1890 FAX: 03-3241-2978

URL: www.jga.gr.jp